

I 第51週の発生動向 (2010/12/20~2010/12/26)

- インフルエンザについては、東地方+青森市保健所管内A型3人、弘前保健所管内A型1人、八戸保健所管内A型9人、むつ保健所管内A型1人の届出がありました。(型別は迅速診断キットによる結果です。)
- 水痘については、上十三保健所管内において新たに**警報**が出され、東地方+青森市保健所管内において新たに**注意報**が発令されました。
- 伝染性紅斑については、東地方+青森市保健所管内において第50週から**警報**が継続しています。
- 流行性耳下腺炎については、むつ保健所管内において第47週から**警報**が継続しています。

II 第51週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(85) インフルエンザ	3	0.2	1	0.1	9	0.6					1	0.2	14	0.2	12	1	0.5	2	0.2
(74) RSウイルス感染症	8	0.9	13	1.4	5	0.6	12	2.4					38	0.9	-15	2	2.0	6	0.8
(75) 咽頭結膜熱	4	0.4			4	0.4			7	1.2	2	0.5	17	0.4	2			4	0.5
(76) A群β溶血性レンカ球菌咽頭炎	15	1.7	2	0.2	2	0.2	1	0.2	3	0.5			23	0.5	-8			15	1.9
(77) 感染性胃腸炎	157	17.4	118	13.1	115	12.8	65	13.0	93	15.5	23	5.8	571	13.6	75	26	26.0	131	16.4
(78) 水痘	51	5.7	7	0.8	20	2.2	11	2.2	53	8.8	2	0.5	144	3.4	51	2	2.0	49	6.1
(79) 手足口病			1	0.1	2	0.2			7	1.2			10	0.2	8				
(80) 伝染性紅斑	16	1.8	2	0.2					1	0.2			19	0.5	-4			16	2.0
(81) 突発性発しん	4	0.4	3	0.3					4	0.7	4	1.0	15	0.4	2	1	1.0	3	0.4
(82) 百日咳														0					
(83) ヘルパンギーナ	2	0.2	1	0.1									3	0.1	3			2	0.3
(84) 流行性耳下腺炎	2	0.2	4	0.4	9	1.0	1	0.2	2	0.3	30	7.5	48	1.1	0			2	0.3
(86) 急性出血性結膜炎														0					
(87) 流行性角結膜炎					4	2.0	3	3.0	2	1.0			9	0.8	-3				
(92) クラミジア肺炎														0					
(93) 細菌性髄膜炎														0					
(95) マイコプラズマ肺炎			2	2.0	3	3.0					5	5.0	10	1.7	-6				
(96) 無菌性髄膜炎														0					

は警報、は注意報。「白欄」:患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注:届出状況は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患):弘前2人、八戸6人、五所川原3人、むつ1人、青森市3人 (22年計:321人)
- (55) レジオネラ症(四類全数把握疾患):弘前1人 (22年計:3人)
- (60) 急性脳炎(五類全数把握疾患):八戸1人 (22年計:2人)

IV 病原体検出情報 ※()内は検体採取日です。

- 八戸(12/27)及び五所川原地域(12/17)におけるインフルエンザ患者2名の鼻腔ぬぐい液から、**新型インフルエンザウイルス(AH1pdm)**が検出されています。
- 青森地域におけるウイルス性胃腸炎患者3名(12/14:1名、12/15:2名)の糞便から、**ノロウイルスGII型**が検出されています。

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

レジオネラ症

(四類全数把握疾患)

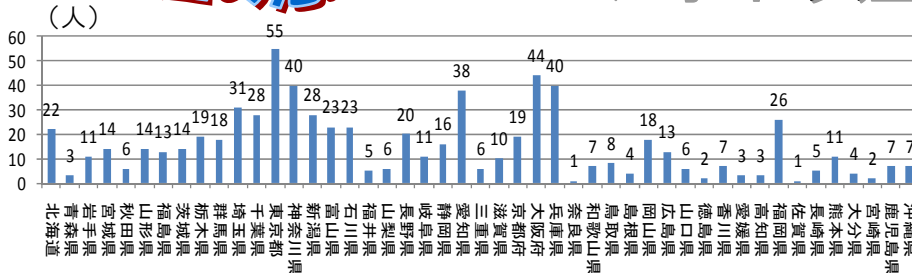


図 レジオネラ症届出数 (統計:国立感染症研究所 2010年12月28日集計)

レジオネラ症はレジオネラ属菌の感染症で全国的に患者が発生しています(図)。青森県では2010年は3名の届出がありました(表2)。本菌は、自然界以外に冷却塔や給湯系などの水環境でも増殖することが知られています。本疾患が疑われる症状(表1)が現れた場合は早めに医療機関を受診してください。

表1 病型分類

病型	潜伏期間	臨床症状
レジオネラ肺炎	2~10日	高熱、乾性咳嗽、喀痰を主症状とする肺炎。初期症状は乾性咳嗽、後に膿性痰、血性痰等。四肢の振戦等神経症状。重症になりやすい。
ポンティアック熱	1~2日	突然の発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛などで発症。感冒様症状。予後良好。

表2 届出患者病型分類(2010年青森県)

診断月	管轄保健所	性別	年齢	病型
7月	八戸	男	70歳代	肺炎型
9月	八戸	男	50歳代	肺炎型
12月	弘前	男	50歳代	ポンティアック型

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です）単位：人 2010年第28週～第50週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
28	H22.7.12 ~ H22.7.18			腸管出血性大腸菌感染症1人			
29	H22.7.19 ~ H22.7.25						
30	H22.7.26 ~ H22.8.1					麻疹1人	
31	H22.8.2 ~ H22.8.8	細菌性赤痢1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		ライム病1人	
32	H22.8.9 ~ H22.8.15		腸管出血性大腸菌感染症2人				
33	H22.8.16 ~ H22.8.22	・腸管出血性大腸菌感染症1人 ・つつが虫病1人					・麻疹1人 ・クリプトスポリジウム症1人
34	H22.8.23 ~ H22.8.29		腸管出血性大腸菌感染症1人	後天性免疫不全症候群1人		腸管出血性大腸菌感染症2人	
35	H22.8.30 ~ H22.9.5						
36	H22.9.6 ~ H22.9.12	腸管出血性大腸菌感染症1人				・クリプトスポリジウム症4人 ・麻疹1人	腸管出血性大腸菌感染症3人
37	H22.9.13 ~ H22.9.19						
38	H22.9.20 ~ H22.9.26	後天性免疫不全症候群1人				麻疹1人	ライム病1人
39	H22.9.27 ~ H22.10.3		腸管出血性大腸菌感染症1人	レジオネラ症1人			
40	H22.10.4 ~ H22.10.10	腸管出血性大腸菌感染症1人					
41	H22.10.11 ~ H22.10.17						
42	H22.10.18 ~ H22.10.24						
43	H22.10.25 ~ H22.10.31		バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人				
44	H22.11.1 ~ H22.11.7						
45	H22.11.8 ~ H22.11.14						
46	H22.11.15 ~ H22.11.21					腸管出血性大腸菌感染症1人 A型肝炎1人	
47	H22.11.22 ~ H22.11.28						つつが虫病1人
48	H22.11.29 ~ H22.12.5						
49	H22.12.6 ~ H22.12.12			クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
50	H22.12.13 ~ H22.12.19						

VI 結核(二類全数把握疾患) 2010年第28週～第50週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
28	H22.7.12 ~ H22.7.18	2	3		1		
29	H22.7.19 ~ H22.7.25	1	1				
30	H22.7.26 ~ H22.8.1	5	2	2	5		
31	H22.8.2 ~ H22.8.8	1	3	2	1	1	
32	H22.8.9 ~ H22.8.15	1	1	1		1	
33	H22.8.16 ~ H22.8.22	1	1	2	2	1	1
34	H22.8.23 ~ H22.8.29	2	2	2	1	7	
35	H22.8.30 ~ H22.9.5	3	4	2		2	
36	H22.9.6 ~ H22.9.12	1	2	2	2	2	5
37	H22.9.13 ~ H22.9.19		1		1	2	
38	H22.9.20 ~ H22.9.26	1		2			
39	H22.9.27 ~ H22.10.3		1	1	1	4	
40	H22.10.4 ~ H22.10.10		2		2	1	1
41	H22.10.11 ~ H22.10.17		2	1		2	
42	H22.10.18 ~ H22.10.24	1	1	1		1	
43	H22.10.25 ~ H22.10.31	3	2		2		1
44	H22.11.1 ~ H22.11.7	1	1	1	1	1	5
45	H22.11.8 ~ H22.11.14	2	4	1		1	
46	H22.11.15 ~ H22.11.21	3	2	1	1	3	
47	H22.11.22 ~ H22.11.28			6	1	1	
48	H22.11.29 ~ H22.12.5		1	1			
49	H22.12.6 ~ H22.12.12	2	1			1	1
50	H22.12.13 ~ H22.12.19	1	5	3	3	2	

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）2010年第1週～第50週

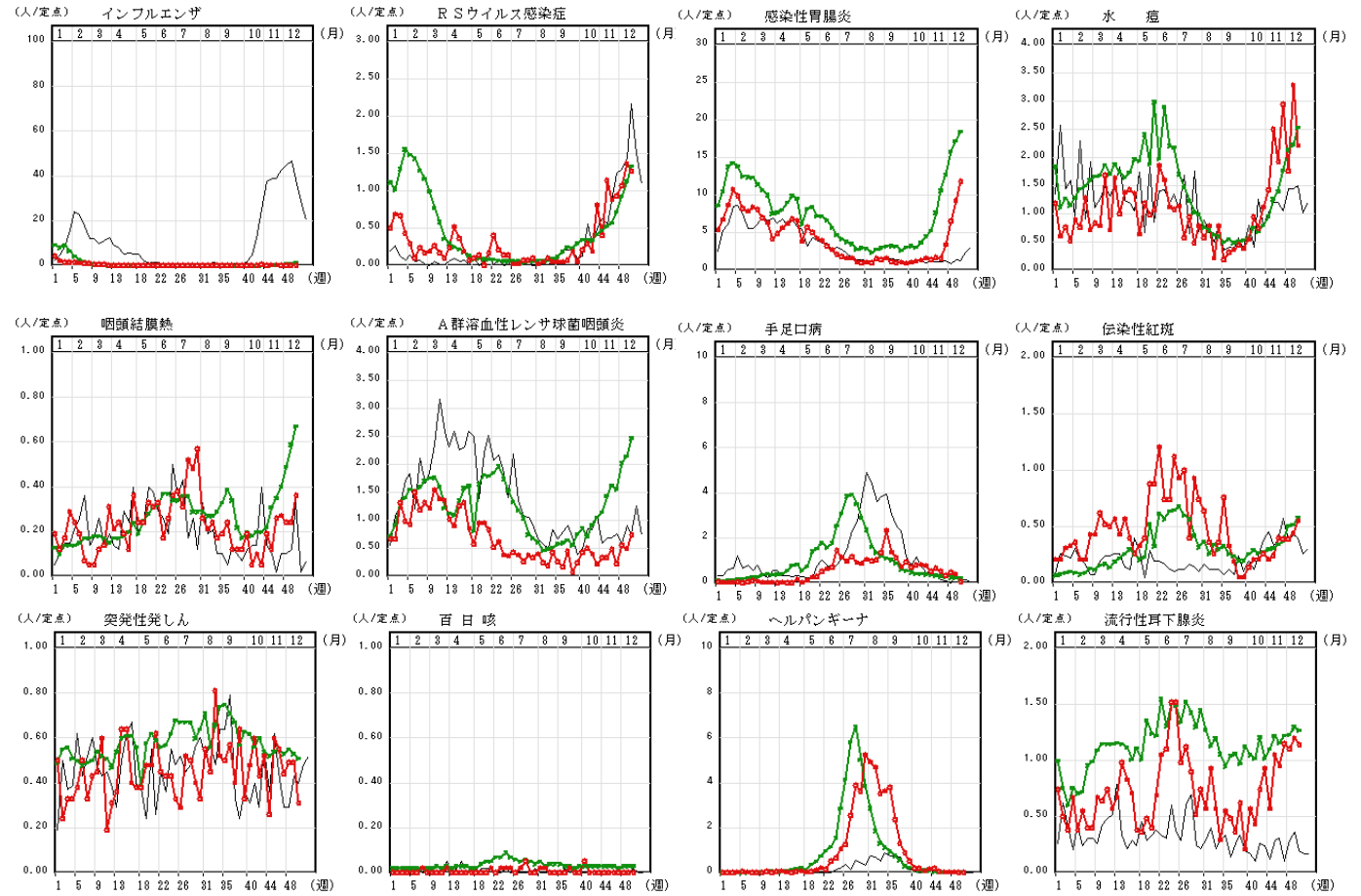
(注：届出状況は速報値であり、本県で届出のあった疾患のみを掲載しています)

2011年1月4日16時集計速報値

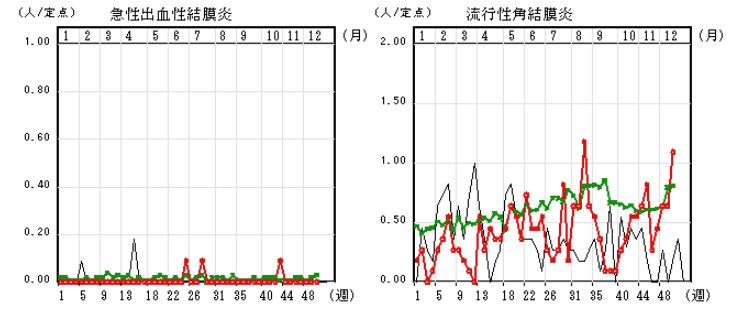
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	ライム病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	麻疹
青森県	306	1	1	15	2	11	2	2	3	2	1	5	3	3	1	1	8
全国	25211	11	227	4086	338	361	12	703	807	216	227	16	162	1449	78	116	443

グラフの説明 ○—○は2010年青森県、——は2009年青森県、○—○は2010年全国

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 2010年第1週~第50週



IX 眼科定点把握疾患週別推移 2010年第1週~第50週



X 基幹定点把握疾患週別推移 2010年第1週~第50週

